

学生の学びを止めさせない



対文科省要請行動

隔週木曜日 @文科省前
17:00～

6月

11 25 日

全学連の5つの要求

- すべての大学で学費を無償化すること
- オンライン講義に伴う環境整備の費用を補償すること
- 各大学ですでに実施されている学生支援策の費用を文科省が拠出すること
- 学生自治会、サークル活動など学生の自主的活動を積極的に承認すること
- 現行の大学改革の中止

今、新型コロナウイルスの影響による保護者や自らの収入減を理由に、大学生の5人に1人が退学を検討しています（「高等教育無償化プロジェクトFREE」調べ）。多くの大学ではオンライン授業化や施設利用禁止などがされる一方で、学費は減額されず、学生の多くは生活の見通しが立っていません。

しかし、コロナ禍以前から授業料の高額化や学生自治への侵害により今の学生の生活は危機的なものでした。緊急事態を耐え忍ぶ経済力がなぜ学生や保護者になのか、それは従来の学生の状況や大学を取り囲む社会システムが脆弱だったことの証左です。

この緊急事態の中で、全学連は経営の強化と競争原理を導入する大学の新自由主義化に反対し、学生の自治を積極的に拡大するために行動しています。

全学連

HP : zengakuren.jp

Mail : mail_cn001@zengakuren.jp

Twitter : [@zengakuren](https://twitter.com/zengakuren)



私たち全学連（全日本学生自治会総連合）は全国の学生と繋がり、ともに行動しています。

東京大学

東京での生活は過酷です。一人暮らしには多なコストがかかります。頼みの綱のアルバイトがコロナで吹き飛びました。300万人分の43万人と言わず、1回きりの10万円と言わず、思い切った給付が必要です。

地方 A 大学

元々アルバイト漬けで苦しめた生活に拍車がかかりました。奨学金の受給が理由で一時金すら取れまません。毎日の食事です。本当にこれが「自己責任」ですか。学費無償化を求めます。

私立 B 大学

文科省は教育、スポーツ、文化、芸術の新興を述べています。学生・教員は余儀なくオンラインにならず、特に文化芸術、スポーツを先行する学生は致命的です。教員はオンラインにより仕事量が増え、負担が増えています。

文科省は私立学校の重要な役割を述べており、市立も国公立と同等に国からの保証を求めます。

都内理系大学

私の在籍している大学はここ2年間で「授業料値上げ」「授業時間を90分→100分」など、学生への意見を全く聞かずに強行しました。その一方、学納金全休の延長は「授業料の全声の延長」のみです。学生の生活に支障をきたす恐れがあります。大学は学生です。運営を行うべきです。

沖縄大学

沖縄は貧困が社会問題化しており、新型ウイルスによる緊急事態の前にも数回授業料が払えない学生が多数います。学生が収入が減少する中で、家計が破綻する学生が多くなっています。支援策は様々ありますが、学費無償化にするべきです。